

豊岡で音楽活動を普及させる  
さまざまな活動

豊岡地域には、バンド活動をするグループが活躍できる場とその機会の提供をしようと、さまざまな活動を展開している会があります。今回は、その代表者を紹介します。

平尾 仁さん(34歳) 上佐野

きっかけはライブハウスがなくなったこと

「都会にも引けを取らないようなバンド活動をしたいです。音楽って楽しいんです。聞けば心も和むし、演奏する私たちもとても楽しいです」と熱く語るのは84END A代表の平尾 仁さん。市内だけでなく、但馬でバンド活動をするグループの練習の成果を披露する場所や機会の提供、企画、準備などを支援しています。

気軽に音楽を  
楽しんでもらう工夫

バンドとは、ヴォーカル(歌い手)、ギター、ベース、ドラムなどの楽器を担当する奏者がグループになったものといえます。平尾さんもバンドに所属し、グループのメンバーがそろうのは、土曜日の夜のみ。それぞれが忙しい中、練習する時間を作って市内の小さなライブハウスで練習に励んでいます。



▲ライブハウスの練習風景

発足のきっかけは、自身も足を運んでいたライブハウスがなくなってしまうこと。そこで平尾さんは「バンド活動をする人の支えになりたい」という思いから、昨年2月に同会を立ち上げ、豊岡市民プラザ「リハーサル室」で定期的に

ライヴイベントを開催しています。このイベントに出演するバンドグループを募ったり、会場の準備をしたりと、仕事と両立させながら、日々、活動しています。

目標は音楽と芸術の融合  
地道な活動で大きな力に

バンドとは、ヴォーカル(歌い手)、ギター、ベース、ドラムなどの楽器を担当する奏者がグループになったものといえます。平尾さんもバンドに所属し、グループのメンバーがそろうのは、土曜日の夜のみ。それぞれが忙しい中、練習する時間を作って市内の小さなライブハウスで練習に励んでいます。また、会場を時間単位で借



▲84END A代表の平尾さん。仲間と音を合わせる楽しさ、一体感がたまらなく、趣味は、詩を書くこと。84END Aホームページアドレス <http://84enda.com/>

音楽活動が根付くような橋渡し役を

「掃除に出向きます」と頼もしい一言。音楽活動が好きだという気持ちも伝わってきました。

りているため、限られた時間を有効に活用しようと、出演者やスタッフなど、みんなが協力して行います。ライブイベントには、毎回、異なる3組のバンドが出演します。高校生から社会人まで、また、但馬だけでなく福知山市や舞鶴市などからの出演もあります。「このイベントを通じて交流の輪が広がれば」という思いから、年齢や出演者の地域が重ならないような工夫もしています。

清掃活動で地域に貢献

一方、音楽活動をしているグループの印象を少しでも良くしたいという思いから、市内各地の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。これまでに清掃を行った場所は、豊岡駅通りや竹野浜などです。「呼ばれればどこへでも清



▲県立但馬ドームの清掃活動に汗を流す84END Aのメンバー

平尾さんは「ここ豊岡でライブ活動を発展させていくための橋渡しができればと思っています。まずはこの活動を継続させていくことが目標。そしてゆくゆくは北近畿で『音楽と芸術の祭典』という位置付けで大きなイベントを開催してみたいですね」と膨らむ目標を語り、笑顔を見せまします。ここ豊岡で音楽の祭典が開催される日は、そう遠くありません。次回のライブイベントの開催日は8月24日(日)。ぜひ、来場ください。

保育園には報マンがやってきた！ ⑥

# 森本へき地保育園

(竹野)

〈園児17人〉



6月25日、竹野南地区公民館に隣接する森本へき地保育園では、「クッキング」が行われるようなので、その様子をのぞいてみました。

今日はクッキーづくり  
に挑戦だあ！

3歳児の「もも組」、4歳児の「ぶどう組」、5歳児の「めろん組」の園児たちがクッキーづくりに挑戦します。作業前にしっかりと手を洗って準備万端です。

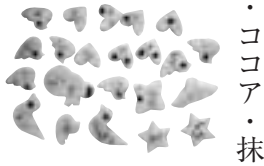


## 何味のクッキーを作るの？

まずは先生がお手本を見せます。少し温めたバターをボウルに入れて、そこに砂糖を加えて混ぜていきました。



次は、バニラ・ココア・抹茶の粉を入れてさらに混ぜていくと、少しずつ色が変わってきて、3色の生地ができました。



## ☆♡◇いろいろなものをかたどってみよう

続いて、生地を薄く伸ばして、いろんな形にかたどっていきます。詩乃ちゃん(5歳)は♡マークに、涼太くん(5歳)は☆マークにかたどって

いきました。

## 早く食べたいけど

ガマンガマン…

さあ、後は焼くだけ。園児たちは早く食べたくて仕方ありません。でも、お



昼ごはんの時間になつたのでみんなでお昼寝をしました。

## お昼寝の後は 楽しみのおやつ時間！

お昼寝が終わると楽しみにしていたおやつ時間です。まだ少し眠い目をこすりながら水筒を持ってランチルームに集合。3種類のクッキーをお皿に取り分けてもらい、手を合わせて「いただきますあす」。みんな楽しく食べて、楽しい思い出の一日になりました。



## 顔輪 笑いの

寝技・組技の格闘技

『Tiger Grapple』(豊岡)



豊岡地域で寝技・組技の格闘技をしているグループ『Tiger Grapple』は、毎週水曜日の午後9時から

極真空手道場(桜町)を借りて練習しています。メンバーは市内や香美町から5人が在籍しています。連絡役を担当する細見昌宏さん(高屋)は「グラップリングは痛い、怖いといったイメージはありますが誰もが気軽にできるスポーツです」と話します。

グラップリングとは、関節技や締め技で相手からポイントを取るスポーツで、主なルールは、1人対1人で、3分5分1ラウンドで試合をします。

勝敗は、関節技・締め技により決まり、それが無い場合はテイクダウンやポジションニング、パsguardなどの組技により与えられるポイントによる決着となります。同ポイントなら審判員の判定で決まります。

今までは掛け持ちで取り組んできた人もいましたが、現在では専門者も増えてきています。

メンバーの望月健次さん(中陰)は「思いつきり体を動かせるのでストレス発散になります。仲間と一緒に汗をかきながら楽しく練習しています。ダイエツトや筋力アップしたいという人にはもってこいですね」と充実した日々を送っている様子でした。

同会は積極的に大会に参加しています。発足して1年半、メンバーそれぞれが「まずは1勝して今後の弾みとしたい」と意気込んでいました。



▲「楽しく汗を流す」と元気なメンバー